

① 魅力ある教師になるために

1 生徒との関係づくり

学校生活全般において、生徒との信頼関係を築きましょう。生徒の様子をよく観察し、よいことはしっかり褒め、時には見守る。一方、悪いことはきちんと粘り強く指導することで、教師に対する信頼は高まります。また、生徒の名前を早く覚えるように努力し、積極的に自分から声をかけることで良好な関係を築きましょう。普段のなにげない会話や表情から生徒のちょっとした変化を感じ取るようにすることが大切です。

2 チームワーク

教師がお互いに支え合い、学び合える関係を構築することは、学校全体の組織力となり、その結果、生徒の成長につながります。社会人になると、その責任感のために自分のことは自分でやらなければならないと思い、誰にも相談できずに悩みを抱え込んでしまうことがあるかもしれません。各学校には必ず経験豊富な先生方がいらっしゃるのので、困ったときは相談し、問題を共有することによって個ではなくチームで指導に当たるように心がけましょう。「分からないこと、困っていることを相談できる」、これは教師にとって大切な資質です。

3 授業づくり

全ての生徒にとって学校生活の基盤となるのは授業です。授業をよりよい学びの場とするために、生徒が積極的に参加でき、達成感や満足感を味わえるような授業づくりを心がけましょう。生徒からの質問に対しては、丁寧に答え、もし分からなければ次回の授業までに調べて確認してから答えるなど、誠実な対応を心がけましょう。



また、生徒の取り組み状況をよく観察し、理解度や到達度を把握しながら授業を進めることも大切です。各単元には、そこで生徒に身に付けさせたい技能や表現があります。指導と評価の一体化を図り、その振り返りを授業改善に生かしていきましょう。

4 自己啓発・自己管理

「こんなふうにしたら、もっとよくなるかもしれない」という発想を常にもって生徒と向き合うことが大切です。教師には幅広い知識と教養が求められます。まずは、教師として自身の英語力の向上を図りましょう。研修を通して研鑽を積むことや検定試験を積極的に活用することも有効な方法です。また、教材の背景知識や映画、音楽、ニュースなど生徒の意欲を喚起するような話題を日頃から蓄えておく必要もあります。

さらに、魅力ある教師として活躍するために、心身ともに健康であることが大切です。教師には授業だけでなく、多岐にわたる仕事があります。特に若い頃は無理をしがちです。オンとオフの切り替えをうまく行い、勤務時間内で効率よく業務を行うことを心がけましょう。